



Close up 1 東日本大震災復興支援

「fukushima さくらプロジェクト」で福島・東北を応援

写真提供：森林総合研究所

コーセーは、2013年より東日本大震災の被災地への復興支援の一環として、福島・東北を応援する「fukushima さくらプロジェクト」に参加しています。当社ならではの取り組みを通じ、新種のさくらの苗木を日本各地へ広げる支援を行うことで、福島・東北を応援していきます。



fukushima さくらプロジェクト

東日本大震災から2年以上が経った今、復興は着実に進んでいますが、福島では原発事故に伴う風評被害などもあり、支援が必要な状況が続いています。

これを背景に「fukushima さくらプロジェクト」が立ち上げられました。多くの企業の参加（協賛）により、シンボルとなる新種のさくらを増やし、福島県から国内外に届けることを通じて、福島・東北を応援する機運を醸成する広報活動を行うプロジェクトです。

原発被害が風化しつつある中で、福島の現状を忘れないため、そして子どもたちが安心して暮らせる未来のために、それぞれの参加企業が新種のさくらを、さまざまな方法で多くの人々に伝え、行動を促すきっかけづくりをしています。

新種のさくらが全国に広がるまで

写真提供：森林総合研究所

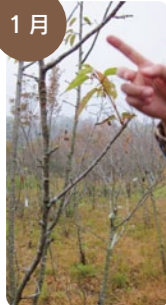


新種のさくらは森林総合研究所が開発し、福島・東北を応援するシンボルとして福島県に贈られたものです。2013年より、福島県森林研究センターに建設された苗木の養生ハウスで増殖を進め、2014年から2015年にかけて初めの1本を贈る計画です。2016年からは順次全国各地へ贈呈し、拡大を進めることを想定しています。

2013年

2014年

全国で開花



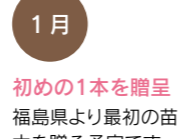
1月
苗木の増殖
芽の出た枝を採取して増やす「接ぎ木」で増殖させ、株分けしていきます。



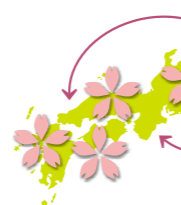
7月
苗木を育てる
養生ハウスで育てられた苗木は、支えが必要ながらも、さくらの木らしく成長しています。



4月
植樹式(福島県)
福島県 佐藤知事、白河市 鈴木市長をはじめとして、多くの方が参加しました。



1月
初めの1本を贈呈
福島県より最初の苗木を贈る予定です。



6月
各地へ順次贈呈
植樹を希望する団体・個人に苗木を順次贈呈していきます。



代表取締役社長
小林 一俊

「fukushima さくらプロジェクト」にかける想い ～「美」を通じて日本を元気に～

震災から約2年半が経ち、被災地から離れた場所では、どうしても被災地で戦っている人々に思いを馳せる機会が減ってきています。そこで、化粧品と同じく、「美」を通じて人を笑顔にするさくらをシンボルとした「fukushima さくらプロジェクト」に参加することにいたしました。春になると毎年咲き誇り、震災のあった春でさえも健気に咲く桜を目にする事で、被災地に思いを巡らせるきっかけになると思います。

私たちは以前から、「絆」をテーマにお客さまや販売店様へ向けた活動を行ってきました。このプロジェクトでも、福島発のさくらが復興の象徴となつて、被災地で頑張っている皆様や全国の皆様と強い絆を結ぶことでしよう。一日も早く、満開の「はるか」が各地の街を彩り、東北の心からの笑顔が戻る日がやってくることを願っています。

コーセーの取り組み 第一弾

鶴ヶ城プロジェクトマッピングに協賛

福島県会津若松市の象徴たる「鶴ヶ城」の城壁に、現在は苗木である新種のさくらが、10年後に大輪の花を咲かせる様子をイメージした映像が投影され、多くの人々に「未来」へ向けた強いメッセージが発信されました。当日は予想以上の参加者で賑わい、コーセーの社員も販売店の皆様とともに参加しました。10年後に満開になったさくらが、子どもたちに笑顔の花を咲かせるように、コーセーは今後も多方面から支援していきます。



(上) 色鮮やかに映し出された満開のさくらのイメージ (下) 小林代表取締役社長も参加

コーセーの取り組み 第二弾

『エスプリーク』と『コスメデコルテ』を通じて新種のさくらを拡大

多くのお客さまにご愛用いただいている当社の代表ブランド『エスプリーク』と『コスメデコルテ』を通じて、全国に新種のさくらを広げる活動を行っています。

エスプリーク限定品「ビューティフルスキンパクトUVリミテッドキット2」は、2013年8月21日から10月31日まで、商品外装箱に新種のさくらをモチーフにした共通ロゴを表記して告知活動を行うとともに、お買い上げの一部を新種のさくらの増殖費用として寄付します。コスメデコルテ限定品「モイストチャリボソム 限定キット」も2013年11月1日から12月31日までの期間で活動を実施する予定です。

今後も化粧品を通じて福島から全国に新種のさくらを広げ、一人ひとりが福島・東北を応援する機運を醸成する活動に取り組んでいきます。



(上) お買い上げの一部が新種のさくらの増殖費用となる「エスプリーク」(下)「コスメデコルテ」

VOICE



『fukushima さくらプロジェクト』に想いを寄せて

福島支店美容スタッフ 佐藤 めぐみ

東 日本大震災・原発事故より、国内外の多くの方々にご支援いただき、人とのつながりや絆を強く感じています。私たちは化粧品の力を信じ、震災後も直接触れ合うことを大切に、一人でも多くの方をキレイに、そして笑顔にする活動を続けてきました。このプロジェクトに参画することによって、新種のさくらの成長とともにさらに枝を大きく伸ばし、被災地の今を未来に伝えることができると期待しています。まずはふるさと福島から感謝の想いを込めて全力で取り組んでまいります。